

第5回 高知県史編さん編集委員会議事概要

日時：令和5年2月12日（日） 10:00～13:00

場所：高知市立龍馬の生まれたまち記念館 ふれあいホール

出席委員：藤井委員長、羽賀副委員長、井上委員、岩佐委員、大門委員、岡本委員、
小幡委員、佐藤委員、鋤柄委員、常光委員、津野委員、松田委員、三浦委員、
三宅委員、渡部委員

事務局：中内課長、山崎企画監兼室長、窪内課長補佐、南チーフ、小林、弘田、
坂本専門員

1 開会

2 挨拶

藤井委員長より開会挨拶

3 協議・報告事項

(1) 第4回編集委員会の概要について

資料1について、事務局より説明。

【各委員主な意見】

- 令和6年度より考古部会が設置される予定であるが、専門職員の採用について、現在の進行状況を教えていただきたい。

→ 専門知識を持つ職員の必要性は理解している。担当課とも協議を進め、結果をご報告させていただきます。

(2) 令和4年度の活動状況及び令和5年度の活動計画について

資料2について、各専門部会長より説明。

【各委員主な意見】

- 資料のデータ共有をする際に、著作権をどうクリアするか。県庁の法務部など、担当課に確認をしておくべき。

- 各館で作られるデータベースを県史の中でどう利用していくか。

- 民俗部会の刊行の順番を下記のとおり変更したい。
資料編1 → 本編1 → 本編2 → 資料編2

各委員意見なし

- 各部会において戦争遺跡に対する扱い、取組のイメージはどのようなものか。
→ (近代) 戦争遺跡の調査成果は必ず生かしたい。高知市史のようにコーナーを設けて取り扱うかどうか等、検討していきたい。
→ (現代) 現代部会はまだ未設置であるため、全体では検討できていない。しかし、遺跡は現代でも大きな要素であると考えているため、近代・考古部会と連携を図りながら、協議及び検討を進めていきたい。

- (3) 令和5年度予算について
資料3について、事務局より説明。

各委員意見なし

- (4) 資料情報の共有（クラウド）について
資料4について、事務局より説明。

【各委員主な意見】

- 編さん業務をするにあたって、調査して得た膨大な量のデータを管理しなければならない。編集・編さん作業を考えると、必要な時に必要なデータを迅速に利用することができるかが懸念。結局、紙媒体での管理になってしまうのではないか。
- 膨大な量のデータとなるため、検索機能が必須となる。しかし、一点毎にタイトルをつける作業は簡単にできないのではないか。
- 部会によっては、一括で文書は数千、数万コマとなる。複数のフォルダに分けて管理するためには、目録の作成・分類が必要となるが、これには複数の段階を経る必要があり、時間を要する。実際にデータを共有したい時期はその前の段階であるため、クラウドを通じた共同編集は現段階では難しいのではないか。
- 大容量のデータを受け渡しする際の方法と時間はどのような形となるか。
→ フォルダ毎にまとめてダウンロードが可能。通信速度は各自の環境次第であるため、課題となる。

- クラウドではない方法でのデータ共有方法も併せて検討していただきたい。
- 編集をするための道具としての側面も重要であるが、公開を将来的に考える時にどのような扱いにするのかということも併せて考えてほしい。

(5) 編さん資料の収集とその後の利用条件について
資料5について、古代中世部会長より説明。

【各委員主な意見】

- 収集したデータの利用条件等について、最初の段階で確認しておくことは非常に重要。所有者の変更や県史編さん事業以外の用途での使用は認めないといった場合にどのように資料を取り扱うかといった課題も多くある。引き続き、議論を深めていきたい。

(6) 第1期の成果をまとめた冊子等の刊行について
資料6について、事務局より説明。

各委員意見なし

(7) 県史編さん事業の今後の進め方について
資料7・8、参考資料5・6について、事務局より説明。
また、編集方針のモデル作成について、事務局より説明。

【各委員主な意見】

- 基本は資料調査を行い、資料の中から歴史を描いていく。作成した目録や構成以外に新しい資料が見つかり、それに伴い新しい分野が出てくる。専門部会の分野の動きをうまく反映させてほしい。
- 資料調査をして資料を把握すること自体も1つの大きな目的である。

(8) 事務局の活動状況（市町村訪問等）について
参考資料6について、事務局より説明。

各委員意見なし

(9) その他
報告事項等なし

4 閉会

(以上)